

【新たな義務教育学校の学校名が決まりました】

令和6年に開学する新たな学校の校名募集をしていましたが、総計で224件の応募があり、畑野町住民からは小学校児童からの応募も含めて49件ありました。

7月に開催された新学校コンセプト検討グループ会議で、応募された学校名に寄せる思いや願いを一つひとつ確認しながら数点に絞り込み、市教育委員会へ報告。8月に開催された教育委員会議で最終選考が行われ、新たな学校名が『亀岡市立 育親学園』に決定しました。

亀岡市議会9月定例会で条例としての議決を経て、正式に決定されることとなります。

南桑中学校の分校から育親中学校となって70余年。

開校時から「育親」という名に込められた思い・伝統が、新しい学校になっても継承されていくことを望む声がたくさん寄せられていただけに、これからも地域の誇りとして「育親」という名が残ることを喜ばしく感じます。

『育親』という名

校名には所在地の名を冠にしたところが多いが、『育親』という名称は、教育・学校の理想が反映された造語である。『育』とは文字どおり「人を育み、育てる場」であること。『親』は「人のつながり、絆」という意味のようです。

